



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月9日

上場会社名 川澄化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7703 URL http://www.kawasumi.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 昌谷 良雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 請川 浩一 TEL 03-5769-2600  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	5,665	△9.0	△30	—	56	△77.4	6	△96.5
2018年3月期第1四半期	6,226	2.9	178	△42.5	251	45.4	190	△51.6

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 107百万円 (△76.8%) 2018年3月期第1四半期 462百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	0.31	—
2018年3月期第1四半期	8.73	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	44,998	39,404	86.6
2018年3月期	45,312	39,456	86.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 38,971百万円 2018年3月期 39,020百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△9.6	△300	—	△200	—	△1,700	—	△77.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	22,948,003株	2018年3月期	22,948,003株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,132,552株	2018年3月期	1,132,552株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	21,815,451株	2018年3月期1Q	21,815,571株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績については以下のとおりです。

## &lt;売上高&gt;

売上高は、構造改革による撤退品(国内ダイアライザー、海外血液回路、国内浄化自販製品<除く回路>)、血液モニタリングキット、カテーテル類)や国内向け血液バッグ、生理食塩液等の販売が減少したことにより、前年同期に比べ5億60百万円減の56億65百万円(前年同期比9.0%減)となりました。国内・海外別の売上高につきましては、国内売上高は、前年同期に比べ5億81百万円減の37億13百万円(同13.5%減)、海外売上高は、前年同期に比べ21百万円増の19億52百万円(同1.1%増)となりました。

## &lt;売上総利益・営業利益&gt;

売上高減少に加え、為替影響等による原価率悪化により、売上総利益は前年同期に比べ3億27百万円減の18億39百万円(同15.1%減)となりました。

販売費及び一般管理費は、癒着防止材の治験費用等研究開発費が増加したものの、人件費・販売促進費・運送費等の減少により、前年同期に比べ1億18百万円減の18億70百万円(同6.0%減)となりました。

これにより、営業損益は、前年同期に比べ2億8百万円減の△30百万円(前年同期は1億78百万円)となりました。

## &lt;経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益&gt;

経常利益は、前年同期に比べ1億94百万円減の56百万円(同77.4%減)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ1億83百万円減の6百万円(同96.5%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 血液及び血管内関連

構造改革による撤退品(血液モニタリングキット、カテーテル類等)や国内向け血液バッグ等の販売が減少したことにより、売上高は、前年同期に比べ2億45百万円減の24億65百万円(同9.0%減)、セグメント利益は、前年同期に比べ1億90百万円減の△30百万円(前年同期は1億59百万円)となりました。

## ② 体外循環関連

構造改革による撤退品(国内ダイアライザー、海外血液回路、国内浄化自販製品<除く回路>)や生理食塩液等の販売が減少したことにより、売上高は、前年同期に比べ3億15百万円減の32億円(同9.0%減)、セグメント利益は、前年同期に比べ9百万円減の0百万円(同95.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億13百万円減の449億98百万円となりました。

流動資産は、主として受取手形及び売掛金の減少により、4億51百万円減の283億24百万円となりました。

固定資産は、主として投資有価証券の増加により、1億38百万円増の166億74百万円となりました。

流動負債は、主として引当金の減少により、4億14百万円減の29億81百万円となりました。

固定負債は、主としてその他(繰延税金負債)の増加により、1億53百万円増の26億12百万円となりました。

純資産は、主として為替換算調整勘定の減少により、51百万円減の394億4百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は86.6%となり、前連結会計年度末と比べ、0.5ポイント増となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期に比べ13億46百万円増の166億26百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内容は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ16百万円減の4億99百万円となりました。主な内容は、売上債権の増減額の6億81百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ1億30百万円増の△1億14百万円となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出の1億36百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ47百万円増の△1億57百万円となりました。主な内容は、配当金の支払による支出の1億52百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、現状では予想値を修正する状況にありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,668	16,792
受取手形及び売掛金	6,830	6,111
商品及び製品	2,770	2,792
仕掛品	687	726
原材料及び貯蔵品	1,450	1,386
その他	370	517
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	28,775	28,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,846	4,699
機械装置及び運搬具(純額)	2,481	2,286
その他(純額)	2,772	2,812
有形固定資産合計	10,100	9,798
無形固定資産	532	546
投資その他の資産		
投資有価証券	5,546	5,976
その他	381	377
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	5,903	6,329
固定資産合計	16,536	16,674
資産合計	45,312	44,998
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,588	1,482
未払法人税等	238	35
引当金	301	6
その他	1,267	1,456
流動負債合計	3,395	2,981
固定負債		
退職給付に係る負債	1,878	1,880
その他	580	732
固定負債合計	2,459	2,612
負債合計	5,855	5,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,642	6,642
資本剰余金	6,462	6,462
利益剰余金	25,291	25,134
自己株式	△1,056	△1,056
株主資本合計	37,339	37,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,688	1,988
為替換算調整勘定	62	△132
退職給付に係る調整累計額	△70	△66
その他の包括利益累計額合計	1,680	1,788
非支配株主持分	436	433
純資産合計	39,456	39,404
負債純資産合計	45,312	44,998

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	6,226	5,665
売上原価	4,059	3,825
売上総利益	2,166	1,839
販売費及び一般管理費	1,988	1,870
営業利益又は営業損失(△)	178	△30
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	23	32
為替差益	—	37
受取補償金	41	—
作業くず売却収入	10	12
その他	5	3
営業外収益合計	90	96
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	11	—
持分法による投資損失	3	3
減価償却費	0	5
その他	0	0
営業外費用合計	16	9
経常利益	251	56
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	1	1
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	251	55
法人税、住民税及び事業税	7	22
法人税等調整額	55	21
法人税等合計	62	44
四半期純利益	188	11
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	190	6



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	188	11
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169	299
為替換算調整勘定	104	△207
退職給付に係る調整額	△0	3
その他の包括利益合計	274	95
四半期包括利益	462	107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463	109
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	251	55
減価償却費	409	405
有形固定資産除却損	1	1
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	—
引当金の増減額(△は減少)	△300	△295
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	28	23
受取利息及び受取配当金	△31	△42
支払利息	0	0
持分法による投資損益(△は益)	3	3
売上債権の増減額(△は増加)	△61	681
たな卸資産の増減額(△は増加)	△21	△10
仕入債務の増減額(△は減少)	△14	△107
その他	280	△80
小計	545	634
利息及び配当金の受取額	54	49
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△83	△183
営業活動によるキャッシュ・フロー	515	499
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	—
定期預金の払戻による収入	—	34
有形固定資産の取得による支出	△216	△136
有形固定資産の売却による収入	2	2
無形固定資産の取得による支出	△32	△15
その他	1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245	△114
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△202	△152
非支配株主への配当金の支払額	△2	△1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△0	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204	△157
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	△66
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	100	161
現金及び現金同等物の期首残高	15,180	16,465
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,280	16,626

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	血液及び血管 内関連	体外循環 関連	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	2,710	3,516	6,226	—	6,226
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,710	3,516	6,226	—	6,226
セグメント利益	159	18	178	—	178

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	血液及び血管 内関連	体外循環 関連	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	2,465	3,200	5,665	—	5,665
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,465	3,200	5,665	—	5,665
セグメント利益又は損失(△)	△30	0	△30	—	△30

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## 重要な契約の解除および自己株式の取得

当社は、2018年8月9日の取締役会において、旭化成ファーマ株式会社（以下、「旭化成ファーマ」といいます。）および旭化成メディカル株式会社（以下、「旭化成メディカル」といいます。）ならびにテルモ株式会社（以下、「テルモ」といいます。）との間の業務資本提携を解消することを決議し、旭化成ファーマおよび旭化成メディカルならびにテルモと業務資本提携契約（以下、「本契約」といいます。）を解消することについて合意いたしました。また、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得およびその具体的な取得方法について決議いたしました。

## 1. 業務資本提携の解消

## (1) 業務資本提携解消の理由

当社と、旭化成ファーマおよび旭化成メディカルならびにテルモは、アジア市場を中心とした血液事業をはじめとして、シナジー効果が創出できる事業領域において戦略的な業務提携を行うために2007年5月10日付で、本契約を締結いたしました。以来、アジア市場での血液バッグならびにフィルター付血液バッグの展開などにおいて、相互の企業価値および株主価値の増大に取り組んでまいりました。この度、各社のさらなる発展を見据えた今後の業務・資本提携の有り方に関して当事者間で協議を重ねた結果、今後は、取引関係を含めた従来通りの友好的な関係を維持しつつも、経営環境の変化等に応じてそれぞれが独自の成長戦略を柔軟に推進できるようにすることが望ましいとの判断に至ったため、これを解消することについて合意いたしました。

## (2) 業務資本提携解消の内容

当社は、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）により、自己株式の取得を行う予定であり（詳細は、「2. 自己株式の取得」をご参照ください）、テルモから、本契約の解消に伴い、その保有する当社の普通株式（1,200,000株）の全部をもって本自己株式の取得に応じる意向を有している旨の連絡を受けております。

## (3) 業務資本提携の契約解消日

2018年8月9日

## (4) 今後の見通し

本契約の解消による当社グループの業績に与える影響はありません。

## 2. 自己株式の取得

## (1) 自己株式の取得を行う理由

当社と旭化成ファーマ、旭化成メディカル、ならびにテルモは、上記「1. 業務資本提携の解消」に記載のとおり、業務資本提携契約を解消することとなりました。本契約解消に伴い、テルモは当社株式を売却する意向を有しており、当社は当該株式売却による株式市場での需給への影響を回避するとともに、資本効率の向上を図る観点から自社株式の取得を行うことといたしました。

## (2) 取得の内容

- |            |  |
|------------|--|
| ①取得する株式の種類 | 当社普通株式   |
| ②取得する株式の総数 | 1,300,000株（上限）   |
| ③取得の方法     | 2018年8月9日の終値で、2018年8月10日午前8時45分の東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）において買付けを委託 |